

令和 4 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	輝くまち	政策名	快適で住みやすいまちづくり						
施策 No.	31	施策名	快適な道路機能の強化						
主管課名	建設課								
関係課名	都市計画課								
10年後の目指す姿	誰もが安全で円滑な通行ができる、快適な道路が整備されています。								
施策の現状及び課題	現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道8号入善黒部バイパスは、渋滞が発生しているため、4車線化の整備促進を働きかけています。また、主要地方道宇奈月大沢野線バイパス等の道路の新設は、早期全線開通が望まれています。</li> <li>・日本風景街道に登録された主要地方道魚津生地入善線等のいわゆる蟹気楼ロードは、地域及び団体が共有することにより、道路風景や地域資源を守り・創り・伝えていくことが望まれています。</li> <li>・通学路の変更や住宅団地やアパートの増加による生活道路の安全ニーズが変化しており、通学路合同点検結果等を踏まえた整備を行っています。</li> <li>・道路施設の老朽化が進み、道路補修を行っています。また、冬期間の安全で円滑な交通を確保するため、道路除雪を行っています。</li> </ul>							
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道8号入善黒部バイパスの4車線化の整備促進の働きかけや、主要地方道宇奈月大沢野線バイパス等の道路新設による安全で快適な広域的道路のネットワーク整備の促進が必要です。</li> <li>・住民の安全、暮らしに密着した生活道路は、多様化する住民ニーズを踏まえた整備が必要です。</li> <li>・道路施設の老朽化が進み、道路補修に対する要望が多く、早急で適切な維持管理を行う必要があります。また、人口減少や高齢化率が高まる中、除雪体制のより一層の強化を行う必要があります。</li> </ul>							
施策を進めるための役割分担	行 政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で快適な広域的道路のネットワークが構築されるよう国・県要望に取り組みます。</li> <li>・道路維持、道路拡幅改良及び通学路整備に取り組みます。</li> <li>・生活道路の除雪を行い、冬期間の安全で円滑な道路交通の確保に取り組みます。</li> <li>・早急で適切な道路補修に取り組みます。</li> </ul>							
	市 民 事 業 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な道路のゴミ拾いや除草を行い、快適な道路空間づくりに協力します。</li> <li>・身近な道路の除雪などを行い、冬期間の円滑な道路交通の確保に協力します。</li> </ul>							
目指す姿の実現のための取組（基本事業）	基本事業①	幹線道路の整備							
	基本事業②	生活道路の整備							
	基本事業③	道路維持管理体制の強化							
	基本事業④								
施策のトータルコスト	区 分		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	17 (17)	16 (16)				
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	5 (5)	5 (5)				
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	3 (3)	2 (2)				
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	9 (9)	9 (9)				
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	794,414	646,370				
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	126,217	74,030				
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	188,666	196,375				
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	479,531	375,965				
基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円							
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	80	72					
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	23,880	23,540					
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	93,681	91,241					
F. トータルコスト（B+E）		千円	888,095	737,611					
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の								
	G. 事業費（定義式：B/人口）		円	19,626	16,192				
	同 上								
	H. 人件費（定義式：E/人口）		円	2,314	2,286				
同 上									
I. トータルコスト（定義式：F/人口）		円	21,941	18,478					
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	3,923	3,876				
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	40,477	39,919				

基本事業概要シート①

施策 No.	31	施策名	快適な道路機能の強化
基本事業名	①幹線道路の整備		
基本事業の目的(意図)	市内幹線道路網の骨格となる国道や県道の整備促進を図るとともに、都市計画道の見直しや幹線市道の計画的な整備を進めます。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【道路関係同盟会事務局事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山県に対して、市内県道の未改良区間の整備促進について要望を行いました。</li> </ul> <p>【国道8号バイパス対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国土交通省、国土交通省北陸地方整備局に対して、国道8号入善黒部バイパスの整備促進(4車線化)について要望を行いました。</li> </ul> <p>【都市計画道路見直し事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路の見直しに向け、令和3年度に街路交通調査を実施し、その結果を基に変更・廃止案を取りまとめました。</li> </ul> <p>【日本風景街道事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚津市制70周年記念事業の一つとして、「日本風景街道大学・蜃気楼の見える街魚津キャンパス」を開催し、蜃気楼ロードの魅力向上のため、サイクリングコースとしての利用普及拡大やルート周辺の観光資源の周知に努めました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
市内の道路改良率	%	80.8	81.0	81.0 81.0	81.1 81.2	81.2	81.3	81.4	81.9

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	土木一般管理事業	10,547,000	8,428,744	2,118,256	-	建設課
2	予算なし	道路関係同盟会事務局事務	0	0	0	-	建設課
3	一般会計	○ 幹線道路整備事業	142,788,493	61,942,928	80,845,565	A	建設課
4	一般会計	国道8号バイパス対策事業	290,000	248,560	41,440	-	建設課
5	一般会計	○ 都市計画道路見直し事務	3,700,000	3,410,000	290,000	A	都市計画課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			157,325,493	74,030,232	83,295,261		

基本事業概要シート②

施策 No.	31	施策名	快適な道路機能の強化
基本事業名	②生活道路の整備		
基本事業の目的(意図)	通学路の安全、暮らしに密着した生活道路の計画的な整備を進めます。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【市道改良舗装事業、各市道改良事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民生活に密着した市道39路線の改良・舗装工事を実施しました。</li> <li>・通学路の安全対策として、市道杉野印田線他5路線の拡幅改良工事、用地補償交渉を実施しました。</li> <li>・「富山湾岸サイクリングコース」と「田園サイクリングコース」を結び、約35kmの周遊コースを整備しました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
通学路安全対策箇所数	箇所	2	2	3 3	4 3	4	5	5	8

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 市道改良舗装事業	40,800,000	39,685,565	1,114,435	A	建設課
2	一般会計	○ 生活道路整備事業	237,631,008	156,689,739	80,941,269	A	建設課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			278,431,008	196,375,304	82,055,704		

基本事業概要シート③

施策 No.	31	施策名	快適な道路機能の強化
基本事業名	③道路維持管理体制の強化		
基本事業の目的(意図)	より効率的な道路パトロールを行い、早急で適切な道路補修を実施します。また、適切かつ持続可能な道路除雪計画を策定し、除雪体制の強化を図ります。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【市道維持補修事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元住民などから苦情・要望のあった道路損傷箇所の維持補修を行いました。</li> </ul> <p>【土木災害応急措置事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存消雪施設のシーズン前の点検・補修を行いました。</li> <li>・民間の除雪作業事業者ヘリス車両を24台貸与し、除雪体制の確保を図りました。</li> <li>・降雪の状況により除雪・排雪作業を適切に指示し、冬期間の道路交通を確保しました。</li> <li>・ハンドガイド式ロータリー除雪機(手押し式)を希望する地域振興会等に15台貸与し、狭い市道の除雪体制を強化しました。</li> </ul> <p>【橋梁点検事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・63橋(全244橋)の近接目視点検等を実施しました。(委託分34橋、直営分29橋)</li> </ul> <p>【消雪施設更新事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進む消雪施設の更新工事(1箇所)を行いました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
市管理道路の除雪延長	km	260.1	260.4	260.5 261.6	260.7 262.2	261.0	261.3	261.6	263.1

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 市道維持補修事業	79,727,000	78,387,553	1,339,447	A	建設課
2	一般会計	道路維持一般管理事業	13,896,000	13,456,532	439,468	-	建設課
3	一般会計	○ 土木災害応急措置事業	317,454,071	256,916,985	60,537,086	A	建設課
4	一般会計	道路台帳整備事業	9,884,000	5,528,644	4,355,356	-	建設課
5	予算なし	市道認定事務	0	0	0	-	建設課
6	予算なし	道路法に関する事務	0	0	0	-	建設課
7	一般会計	市道等用地借上事業	396,000	380,881	15,119	-	建設課
8	一般会計	○ 橋梁点検事業	23,000,000	21,209,100	1,790,900	A	建設課
9	一般会計	行政コイン活用事業	500,000	85,500	414,500	-	建設課
10	一般会計	○ 消雪施設更新事業(施策30③再掲)	(27,000,000)	(5,977,400)	(21,022,600)	B	建設課
11							
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			444,857,071	375,965,195	68,891,876		

施策 No.	31	施策名	快適な道路機能の強化
令和4年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①幹線道路の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆市民は、通勤通学時の慢性的な渋滞の解消、通学路の安全対策や降雪期においても支障なく通行できることを、強く望んでいます。</li> <li>◆市内の公道(国、県、市道)の道路改良率は、目標値を達成しています。</li> </ul> <p>【②生活道路の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「道路現況調査資料(令和4年4月1日)」の公道(国、県、市道)について、魚津市と県内他市を比較すると、改良率は県内10市の内6番目、また、舗装率は県内10市の内5番目となっています。比較的平坦な地形の市において、いずれの率も高い数値になっています。</li> </ul> <p>【③道路維持管理体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆苦情・要望のあった道路補修の実施率は、88.2%となっています。老朽化の進行により、要望は増加するものと思われます。</li> <li>◆市内の公道(国、県、市道)の道路除雪延長(車道及び歩道)は、令和3年度429.3kmに対し令和4年度431.0kmと1.7km増加しています。市民からは、よりきめ細かな作業実施の要望が多数寄せられています。</li> </ul>		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和4年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)		
<p>【①幹線道路の整備】</p> <p>&lt;道路関係同盟会事務局事務&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆幹線道路整備について、国、県へ整備促進の要望を行いました。</li> </ul> <p>【②生活道路の整備】</p> <p>&lt;市道改良舗装事業、各市道改良事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆住民生活に密着した市道39路線の改良・舗装工事を実施し、利便性の向上と、円滑な道路交通の確保に努めました。</li> <li>◆通学路の安全対策として、市道杉野印田線他5路線の拡幅改良工事、用地補償交渉を実施しました。</li> </ul> <p>【③道路維持管理体制の強化】</p> <p>&lt;市道維持補修事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆苦情・要望のあった市道の維持補修について速やかな対応に努め、安全な道路交通の確保に努めました。</li> </ul> <p>&lt;土木災害応急措置事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆市では、除雪機械と除雪作業事業者を確保しつつ、約279km(車道262km、歩道17km)の道路除雪を行い、冬期間の円滑な道路交通の確保に努めました。</li> <li>◆ハンドガイド式ロータリー除雪機(手押し式)を希望する地域振興会等に15台貸与し、狭い市道の除雪体制を強化しました。</li> </ul> <p>&lt;橋梁点検事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆63橋(全244橋)の近接目視点検等を実施し、橋梁に異常がないか確認しました。平成29年度に重篤な損傷が認められた1橋については、引き続き通行止の措置を行いました。</li> </ul> <p>&lt;消雪施設更新事業&gt;(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆老朽化が進む消雪施設更新工事(1箇所)を行いました。</li> </ul>			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①幹線道路の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆国道8号入善黒部バイパスの4車線化整備促進について国土交通省へ要望します。</li> <li>◆県道は、三箇吉島線外4路線で道路改良事業が計画されており、これら路線の整備促進について富山県へ要望します。</li> <li>◆市道吉島10号線などの補助幹線道路について整備を進めます。</li> <li>◆都市計画道路の見直しについては、存廃を含め、令和5年度中に都市計画審議会に諮ります。</li> <li>◆幹線道路網計画の見直しについては、存廃を含め、新たな計画策定に向けて関係者と協議を進めます。</li> </ul> <p>【②生活道路の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆住民生活に密着した市道の改良、舗装工事等を計画的に進めます。</li> <li>◆通学時の安全対策として、小学校周辺を重点に通学路の整備を行います。</li> <li>◆通学路合同安全点検を基に危険箇所対策を行うとともに、各小学校周辺の生活道路対策エリア(5地区)を合わせた、通学路、生活道路の安全対策を重点的に進めます。</li> </ul> <p>【③道路維持管理体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆市道の維持補修の速やかな対応を引き続き行うとともに、除雪機械と除雪作業事業者の実態把握や富山県との連携除雪作業等の協議、地域ぐるみ除排雪事業の推進など、今冬の除雪体制確保に努めます。</li> <li>◆橋梁点検を行い、適切な管理を行います。(5年サイクル)</li> <li>◆老朽化している消雪施設の更新工事を行います。</li> </ul>			